| 国語 | 第１学年 | 安芸太田町立加計中学校 | 指導者　山本　康美 |
|---|---|---|---|

単元名

# 「バズセッションで結論を出そう」

**本単元で育成する資質・能力**　コミュニケーション能力 ，論理的 ・ 建設的批判能力

## １　単元について

（１）生徒観

本学級では１学期に「話すこと・聞くこと」の領域で，「自分で作ったパンフレットを友達にスピーチで紹介する」学習と「小学校と中学校の違いをスピーチで友達と担任の先生に紹介する」学習を行った。クラスメイトに最も知らせたい事柄を選び，メモをもとに原稿を作り，話す速度や音量，間の取り方などを考えて練習したうえで発表会を行った。共感的な雰囲気の中でスピーチを聞いた感想や質問を伝え合うことができた。A話すこと・聞くこと　ア「日常生活の中から話題を決め，話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め，整理すること」についてはスピーチを通して自分の考えを明確にして相手意識を持って伝えることができたことから，概ね達成できたと考える。しかし，日常の話合い活動の中で，方向性を踏まえて建設的に話し合うことが不十分である。よって，「話すこと・聞くこと　オ　話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめること。」の力を身に付けさせたいと考える。

（２）単元観

本単元は，学習指導要領「A　話すこと・聞くこと」の指導事項「オ　話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめること。」を受けて設定するものである。授業や学級活動など，限られた時間の中で話合いを行う場面において，よりよい解決策を見つけたり，議論を深めたりするなど，グループで効果的に話合いを進めていく方法を身に付けさせることをねらいとしている。

今回取り上げるバズセッションは，これまで学習してきたスピーチ活動という一方的に自分の考えを話す活動と違い，話合いという双方向のやり取りを行える言語活動である。相手の意見を受容しながら自分の考えを提案し，学級全体で課題解決を行うことのできる共同の要素を兼ね備える活動と言える。話合いを通して，友達の意見を交流することで自分の考えと比較したり，みんなで最善策を生み出すことを体感させることもでき，上記のねらいの達成に向けて，意欲的に取り組むことが期待できる学習である。

（３）指導観

指導に当たっては，次の４点について特に留意する。

**①課題設定の工夫　より生活につながる話合いの場にするために，学級レクリエーションの内容をクラスで考えることをゴールに話合いを進める。**

・これまでのクラスでの話合い活動を思い出し，うまくいかなかったことを出し合った上で，今回の企画を成功させるためには話合いを成功させることが鍵になることを意識させる。

**②情報の収集→整理・分析の工夫　話合いの「良い見本」と「悪い見本」を比較しながら，話合いのポイントを協調学習（知識構成型ジグソー法）の手法を使ってつかむ。**

・先輩出演の悪い話合いと良い話合いのビデオを見て，３つの視点を持たせて目的に沿った話合いのポイントを見付けさせる。

③整理・分析の工夫　自分の主張を明確にし，根拠を検討させる。

・目的をはっきりとさせたうえで，根拠となる事実と意見を付箋に書かせ，整理させる。

・立場の異なる友達と意見を伝え合い，それぞれの主張に対する質問をさせる。

④実行の工夫　話合いの人数を　ペア（２人）→グループ（４人）→クラス全体（16 人）と徐々に人数を増やしながら話すことに慣れさせ，共同で問題を解決することを体感させる。

・４人グループの話合いについては，ビデオ撮影をし，自分たちで見つけた話合いのポイントができているか分析をし，改善案を出し合わせる。

・ゴールであるテーマの最善策をクラス全体のバズセッションで導き出させる。

## ２　単元の目標

○意図を考えながら聞いたり，話題や方向をとらえて話し合ったりしようとしている。

（国語への関心・意欲・態度）

○日常生活の中から話題を決め，話すための根拠の材料を収集・整理することができる。

（話すこと・聞くこと　ア）

○話合いの目的を理解し，議論の内容をふまえて話し合うことができる。（話すこと・聞くこと　オ）

○話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き自分の発言に生かすことができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（１）イ（ウ））

## ３　単元の評価規準

| 国語への関心･意欲･態度 | 話す･聞く能力 | 言語についての知識･理解･技能 |
|---|---|---|
| ① 意図を考えながら聞いたり，話題や方向をとらえて話し合ったりしようとしている。 | ① 日常生活の中から話題を決め，話すための根拠の材料を収集･整理している。(ア)<br>② 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめている。(オ) | ① 話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き，自分の発言に生かそうとしている。　(1)イ(ウ) |

## ４　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい能力は，　①コミュニケーション能力　②論理的・建設的批判能力　③主体性・積極性　④回復力・耐える力　⑤自らへの自信　⑥高い志　の６つである。

本単元では，目的にあった話合い活動を学び，実生活の中で使える話す力を育成することを主眼にしている。協調学習の手法である知識構成型ジグソー法を用いて，仲間と主体的に問題解決に取り組むことで①「コミュニケーション能力」を育成することができると考える。また，お互いの意見を受容しながら最善策をクラス全体で話合いを通して生み出すために②「論理的・建設的批判能力」を育成することができると考える。

## ５　指導と評価の計画（全６時間）

| 次 | 時 | 学　習　内　容 | 評　価<br>評 価 規 準・【評価方法】 | 評　価<br>資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 課題の設定<br>「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」の内容を決めよう<br>○これまでの自分たちの話合いについて振り返り，学習計画を立てる。<br>・自分たちの話合いの良さや課題を挙げる。<br>・「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」の内容を決めるためにバズセッションをする計画を立てる。 | ○自分たちの話合いについての良さや課題について意見を述べ，単元の計画を立てている。<br>（国語への関心・意欲・態度）<br>【行動の観察】 | |
| 2 | 2 | 情報の収集　整理・分析<br>○よりよく話し合うために，「良い見本」と「悪い見本」のビデオを比較して，話合いのポイントを見つける。<br>○話合いに必要なことをグループでまとめる。 | ○比較しながら話合いのポイントを見付け，自分たちの話合いの改善点をまとめている。<br>（A話すこと・聞くこと　オ）<br>【行動の観察・記述の分析】 | ①コミュニケーション能力 |
| | 3 | 整理・分析<br>○「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」を決める具体案を付箋に書き出す。<br>○出した具体案について根拠をもとにペアで意見交流し，質問を出し合う。 | ○日常生活の中から話題を決め，話すための根拠の材料を収集・整理している。<br>（A話すこと・聞くこと　ア）<br>【行動の観察】【記述の分析】 | ②論理的・建設的批判能力 |
| 3 | 4 | 実行<br>○「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」をテーマにグループバズセッションをする。 | ○話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめている。（A話すこと・聞くこと　オ）【行動の観察・ビデオ分析・相互評価・自己評価】 | ①・② |
| | 5 | 振り返り<br>○グループの話合いについて自分たちが見つけた話合いのポイントで分析をして改善点を出し合い，振り返りをする。 | ○ビデオ分析を通して自分の話し方の改善点を見付け，建設的に話し合うための改善策を考えている。<br>（A話すこと・聞くこと　オ）<br>【行動の観察・ビデオ分析・相互評価・自己評価】 | ①・② |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ○話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き，自分の発言に生かそうとしている。<br>（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（ウ））<br>【行動の観察・ビデオ分析】 | |
| | 6 | 実行・まとめ・振り返り<br>・「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」をテーマに全体バズセッションで４つのグループの提案を一つに絞り，結論を出す。<br>・単元の振り返りを行う。 | ○これまでの話合いのポイントを踏まえて，話合いの話題や方向をとらえて話したり，聞いたりして，自分の考えをまとめている。<br>（A話すこと･聞くこと　オ)【行動の観察・記述の分析・自己評価・相互評価】 | ①・② |

## 6　本時の学習指導（第１時/６時間）

（１）目標

○自分たちの話合いについての良さや課題について意見を述べ，単元の見通しをもつことができる。（国語への関心・意欲・態度）

（２）本時の評価規準

○自分たちの話合いについての良さや課題について意見を述べ，単元の計画を立てている。

（３）準備物

アンケート結果，ホワイトボード

（４）学習過程

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○話合いで決定してほしいテーマを担任の先生から提示してもらう。<br>テーマ「学級レクリエーションの内容を決めよう」<br>○「あなたは，クラスでの話合いが好きですか？嫌いですか？それはなぜですか？」の問いに答える。<br>目　クラスの話合いの良さや課題を出そう。 | ◇担任の先生から，学級レクリエーションを決めてほしいという依頼をしてもらい，意欲を高める。<br>◇課題設定となる問いからスタートする。 | | |
| ○自分たちの話合いについての良さや課題を出し合う。 | ◇事前アンケートを提示しながら意見を出させる。 | | |
| ○何のために話し合うのか。おしゃべりと話合いはどう違うのか。グループで意見を出し合い，発表する。 | ◇課題を解決したり，結論を出すために話し合うことをおさえる。<br>◇グループで考えた意見をホワイトボードにまとめさせる。 | | |
| ○話合いで解決するためには，何を学ぶ必要があるか計画を立てる。 | ◇見通しを持たせた計画にさせる。 | ・自分たちの話合いについての良さや課題について意見を述べ，単元の計画を立てている。<br>（国語への関心・意欲・態度）<br>【行動の観察】 | |
| ○次時の予告を行う。<br>話合いに大切なポイントを先輩出演のビデオで知る。 | | | |

（第２時/６時間）協調学習（知識構成型ジグソー法）の手法を用いて実施

（１）目標

○二つの話合いビデオを比較して，話合いのポイントを見付け，自分たちの話合いの改善点をまとめることができる。（話すこと・聞くこと　オ）

（２）本時の評価規準

○比較しながら話合いのポイントを見付け，自分たちの話合いの改善点をまとめている。

（３）準備物

ホワイトボード，ワークシート①②，テレビ，ノートパソコン

（４）学習過程

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○本時の学習のねらいや進め方をつかむ。 | ◇前時に個人が書いた「話合いに大切なポイント」を確認させる。 | | |
| 目　二つの話し合いを比較して，話し合いに大切なポイントを見つけよう。 | | | |
| ○全体でビデオを観る<br>・ワークシートを使って比較しながら良い点と悪い点をメモする。 | A聞き方　B話し方　C話の流れ<br>◇A・B・Cそれぞれの視点を持ってビデオを見させる。<br>◇比較したことを表にすることで良さと悪さを明らかにさせる。 | | |
| ○　エキスパート活動<br>・A・B・Cのグループに分かれて話合いビデオを見ながら個人の考えを伝え合い，追加修正を行って整理する。 | ◇各グループにノートパソコンを用意し，再生しながら話し合える環境をつくる。 | | ①コミュニケーション能力 |
| ○　ジグソー活動<br>課　クラスの話し合いをより良くする解決策を見つけよう。<br>・A・B・Cそれぞれが見付けた話合いのポイントを使って課題を解決する。 | ◇自分たちのクラスの話合いの改善点をホワイトボードにまとめさせる。 | ・比較しながら話合いのポイントを見付け，自分たちの話合いの改善点をまとめている。（A話すこと・聞くこと　オ）<br>【行動の観察・記述の確認】 | |
| ○　クロストーク<br>・グループの意見を全体に発表する。 | ◇グループの意見を聞いて意見交流を行う。<br>◆指導者がコーディネートする。 | | |
| ○　振り返り | ◆グループや全体での学びを自分の言葉でまとめさせる。 | | |
| ○次時の予告を行う。<br>話合いの視点を整理分析して，話合いの提案内容を決める。 | | | |

（第３時/６時間）

（１）目標

○話合いのテーマに合った意見を出し，意見を支える根拠となる材料を収集・整理できる。

（話すこと・聞くこと　ア）

（２）本時の評価規準

○話合いのテーマに合った意見を出し，意見を支える根拠となる材料を収集・整理している。

（３）準備物

教師・・・ホワイトボード，ノート，付箋紙，短冊

（４）学習過程

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○前時を思い出す。<br>○話合いのポイントを3つの視点でホワイトボードに整理する。 | ◇Y字チャートを使って整理分析させる。 | | |
| 目　話合いのテーマに合った意見を持ち，根拠を出そう。<br>学級レクレーションの条件<br>①1時間の授業の中でできる<br>②学校の敷地内でできる<br>③学校にある物を使ってできる<br>④お金をかけずにできる | ◇条件を提示した上で企画案（意見）と根拠を考えさせる。 | | |
| ○企画案（意見）を支える根拠を付箋紙に書く。 | ◇なぜ？どうして？その企画が良いのかを書かせる。<br>◆まず具体的な場面を想像させて短冊にメモをさせる。 | ・話合いのテーマに合った意見を出し，意見を支える根拠となる材料を収集・整理している。（話すこと・聞くこと　ア）<br>【行動の観察】<br>【記述の確認】 | ②論理的・建設的批判能力 |
| ○意見と根拠に関連性があるかをペア交流して，質問を出し合う。 | ◇相手を納得させる意見になっているかを確認させる。<br>◇アドバイスし合い，修正を加える。<br>◇付箋に書かせて，相手に渡しながら具体的にアドバイスさせる。 | | |
| ○今日の授業で気づいたことを振り返りシートに書く。 | | | |
| ○次時の予告を行う。<br>グループバズセッションを行う。 | | | |

（第４時/６時間）

（１）目標

○話合いの話題や方向をとらえて話したり，聞いたりして結論を導き出すことができる。

（話すこと・聞くこと　オ）

（２）本時の評価規準

○話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして結論を導き出している。

（３）準備物

ビデオ，ホワイトボード，ワークシート③，付箋紙

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○本時の学習のねらいや進め方をつかむ。 | | | |
| ○バズセッションのテーマと今日の話合いの目的を確認する。<br>目　**グループバズセッションで最善案を決めよう。**<br>★全員が楽しめる学級レクリエーションを決めるため<br>★グループの人に自分の提案の良さを伝えるため<br>○結論を出すための分析の視点を持つ。<br>〔分析の視点〕<br>①全員が楽しめるか？<br>②実現可能かどうか？ | ◇話題や方向をとらえて話合うことができるように，これまでのノートやプリント等を用いて「話す目的・相手意識・話し合われていること」のポイントをイメージさせる。<br>◇2つの分析の視点でグループの結論を出させる。 | | |
| ○バズセッションを行う。<br>① 自分の提案（考え）を付箋で出し，根拠を発表する。<br>② 発言について質問し合う。<br>○意見を整理し，結論を出す。<br>４人の提案（付箋）を整理しながら図式化して結論を出す。 | ◇表を使って意見を整理しながら話合いを進めさせる。<br>◇自分の考えと比較し，考えをまとめさせる。<br>◆ワークシートを使って話させる。<br>◇グループで結論をまとめる。 | ・話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして結論を導き出している。（A話すこと・聞くこと オ）【行動の観察・ビデオ分析・相互評価・自己評価】 | ①コミュニケーション能力<br>②論理的・建設的批判能力 |
| ○活動を通して気付いたことを振り返りシートにまとめる。 | | | |
| ○次時の予告を行う。<br>今日撮影したビデオを分析して話 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 合いの課題を見付け，改善点を出す。 | | | |

（第５時/６時間）

（１）目標

○ビデオ分析を通して自分の話合いの課題点を見付け，改善策を考えることができる。

（話すこと・聞くこと　オ）

○話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き，自分の発言に生かすことができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項　イ（ウ））

（２）本時の評価規準

○ビデオ分析を通して自分の話し方の課題点を見つけ，建設的に話し合うための改善策を考えている。

○話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き，自分の発言に生かそうとしている。

（３）準備物

ホワイトボード，ノート，付箋紙，ビデオ（前回撮影），テレビ，ノートパソコン

（４）学習過程

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質・能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○本時の学習のねらいや進め方をつかむ。 | ◇グループの話合いのビデオを見る視点を決める。<br>〔3つの観点〕<br>話し方・聞き方・話題と流れ | | |
| 目　話し方について課題を見つけ，改善策を考えよう。 | | | |
| ○自分たちの結論の出し方に注目してビデオ分析をする。 | ◇ワークシートに課題点を書く。<br>◆自分の話し方に注目させて課題をメモさせる。 | ・ビデオ分析を通して自分の話し方の改善点を見付け，建設的に話し合うための改善策を考えている。<br>（Ａ話すこと・聞くこと　オ）<br>・話し手が用いる言葉の使い方の効果に気付き，自分の発言に生かそうとしている。<br>（伝国　イ（ウ）） | ①コミュニケーション能力<br>②論理的・建設的批判能力 |
| ○自分の課題点をどうすれば改善できるか考えをまとめる。 | ◇3つの観点で課題点を整理させ，その理由を発表させる。 | | |
| ○今日の授業で気付いたことを振り返りシートに書く。 | | | |
| ○次時の予告を行う。<br>全体バズセッションを行いクラスの結論を出す。 | | | |

（第６時/６時間）

（１）目標

○　話合いの話題や方向をとらえて話したり，聞いたりして結論を導き出すことができる。

（話すこと・聞くこと　オ）

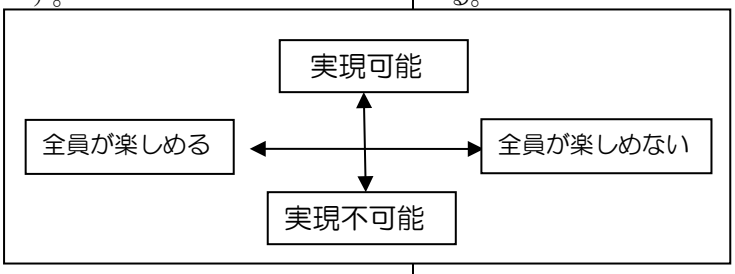
（２）本時の評価規準

○　これまでの話合いのポイントを踏まえて，話合いの話題や方向をとらえて話したり，聞いたりして結論を導き出している。

（３）準備物

ワークシート④，ホワイトボード

（４）学習過程

| 学習活動 | 指導上の留意事項　◆支援 | 評価規準【評価方法】 | 資質･能力の評価 |
|---|---|---|---|
| ○前時を思い出す。<br>今日の全体バズセッションで意識したいことを書く。<br>○授業の流れの確認<br>目　全体バズセッションで結論を出そう。 | ◇前回の話合いの課題を克服させるために意識することを確認させる。 | | |
| ○結論を出すための分析の視点を持つ。<br>〔分析の視点〕<br>①全員が楽しめるか？<br>②実現可能かどうか？ | ◇4つのグループの結論を提示して，2つの分析の視点で最終結論を出させる。 | | |
| 実行<br>○全体バズセッションで結論を出す。<br>  <br> | ◇表を使って意見を整理しながら話合いを進めさせる。 | ・これまでの話合いのポイントを踏まえて，話合いの話題や方向をとらえて話したり，聞いたりして結論を導き出している。（A話すこと・聞くこと　オ）【行動の観察】 | ①コミュニケーション能力<br>②論理的・建設的批判能力 |
| まとめ・振り返り<br>○全体バズセッションを通して相互評価，自己評価を行う。<br>○振り返りを交流する。 | ◇自分たちの課題が克服できたかで評価させる。<br>◆今後の話合いに活かしたいことを自分の言葉で表現させる。 | 【記述の分析】<br>【相互評価】<br>【自己評価】 | |

## 話合いビデオ台本　①悪いパターン

委員長：今日の保健部の話合いのテーマは，「給食の時間に楽しく交流しながら食べるためのアイディア」を出して，その中の一つを実行してみたいと思います。アイディアのある人はいますか？

委員長：これまで，給食中に保健部が音楽を流していましたが，何年も同じ曲が流れていることが気になっていました。これからは毎月テーマを決めて，保健部と先生方が曲を選んで放送するというのはどうですか？

Aさん：ハイ！私は「思い出の曲」をテーマにしたいです。人には，それぞれ「その曲を聞くと何かを思い出す」というような思い出の曲があると思うからです。私には・・・

Bくん：なに？なに？？Aさんの思い出の曲って何？何？何？知りたいなあ。

Aさん：Bくん，まだ私，最後まで意見言ってないんだけど！聞いてよ！
私には・・・

Bくん：ハ～イ！僕は，Aさんとは違って「元気が出る曲」をテーマにしたらいいと思います。

委員長：Bくん，意見は出ましたが，根拠はありますか。

Bくん：なんとなく…僕が今，気に入っている曲があるので，いいかな？と思ったからです。

委員長：Cさんは，どうですか。

Cさん：そうですね・・・。私は，Aさんの思い出のエピソードを話すというのがいいと思います。私の小さかった頃の思い出を給食の時間に話して，みんなに知ってもらいたいです。音楽を流すよりもスピーチをする方が国語の話す力を伸ばすと思うので，そっちの方がいいんじゃない？

## 話合いビデオ台本　②良いパターン

委員長：今日の保健部の話合いのテーマは，「給食の時間に楽しく交流しながら食べるためのアイディア」を出して，その中の一つを実行してみたいと思います。アイディアのある人はいますか？

Cさん：　ハイ！これまで，給食中に保健部が音楽を流していましたが，何年も同じ曲が流れていることが気になっていました。これからは毎月テーマを決めて，日替わりで，保健部と先生方が曲を選んで放送するというのはどうですか？

Bくん：ハイ！Cさんの意見に賛成です。僕も給食のときに流す曲を自分たちで決められないかなぁと思っていました。みんな，「給食の時間にどんな曲を流したらいいか」というテーマでアイディアを出し合うというのでどうですか？

Cさん：「もちろん賛成！」　Aさん：「私も賛成です」　委員長：「私も良いと思います。」

Bくん：「ありがとう」

委員長：では，給食の時間にどんな曲を流したらいいか，「来月，十二月のテーマを出し合いましょう。」
はい，Aさん・Bくん・Cさんの順に発言してください。

Aさん：私は「思い出の曲」をテーマにしたいです。人には，それぞれ「その曲を聞くと何かを思い出す」というような思い出の曲があると思うからです。私には，家族とドライブに行くときに必ず聞く思い出の曲があります。思い出の曲とともに，それにまつわるエピソードも紹介すれば，おもしろいのではないでしょうか。

Bくん：Ａさんの「思い出の曲」もいいと思いますが，思い出は楽しいものだけとは限らないし，それに，お昼の放送なので，なるべく明るい曲のほうがいいと思います。だから僕は，「元気が出る曲」をテーマにしたいと思います。今，僕には気に入っている曲があって，それを聞くと元気が出るので，みんなにも教えたいです。

Cさん：私は，Ｂくんの「元気が出る曲」の意見に似ていて「わたしのベストソング」をテーマにしたいと思います。なぜなら，生徒も先生もそれぞれが曲の好みも違うし，来月からのスタートなので，まずは，その人の好きな曲を僕は聞いてみたいなぁと思ったからです。好きな曲というのは，自分にとっての応援歌だと思うので，明るく元気が出るものだと思います。みなさんも後輩たちや先生方の好きな曲を聞いてみたいとは思いませんか。

委員長：三人の意見と根拠が出ましたので質問や意見がある人は，いますか？
ハイ，Ａさん。

Aさん：私はＢくんとＣさんの意見を合わせて「明るく元気になれるマイ・ベストソング」というテーマはどうかと思うのですが，どう思いますか？

Cさん：ハイ！Ａさん，私の意見を尊重してくれてありがとう。私は，Ａさんの「思い出の曲」とそれにまつわるエピソードを話すというのもとてもいいと思います。来年，一月のテーマにしたらどう？

Bくん：僕もＣさんの意見に賛成です。今回は僕とＣさんの意見を融合させて，次回はＡさんの案を採用したらいいと思います。ただし，「思い出の曲」に「楽しかった」を付け加えて，「楽しかった思い出の曲」にしてはどうでしょうか。

Cさん：いいねぇ，「楽しかった思い出の曲！」

Aさん：二人とも私の意見も尊重してくれてありがとう！
委員長：では，給食のときに流す十二月のテーマは「明るく元気になれるマイ・ベストソング」。
そして来年，一月のテーマは「楽しかった思い出の曲とそのエピソードです。

# 話合いで結論を出そう①　　1年(　　)番　名前(　　)

ステップ1　**話合いで大切なことは？**

**目標　二つの話し合いを比較して，話し合いに大切なポイントを見つけよう**

ステップ2　エキスパート活動　～　それぞれの注目ポイントで見つけよう　～

ステップ3　ジグソー活動　～　課題にせまろう　～

課題

ステップ4　クロストーク　～自分たちの考えと比較して聞こう　～

ステップ5　もう一度，　**話合いで大切なことは？**

## 話合いで結論を出そう②　　1年（　　）番　名前（　　）

エキスパート用プリント　　A「聞くことに注目」

保健部の話合いの目的　：給食の時間に楽しく交流しながら食べるため
話合いのテーマ：給食中にどんな曲を流したらいいか？

良い話合いは，どっち？　○

ふたつの話合いを比較して「聞くこと」に関しての良い点と悪い点をメモしよう。

| 良い点 | | 悪い点 |
|---|---|---|
| | 聞く | |

## 話合いで結論を出そう②　　1年(　　)番　名前(　　)

エキスパート用プリント　　B「話すことに注目」

保健部の話合いの目的　：給食の時間に楽しく交流しながら食べるため
話合いのテーマ：給食中にどんな曲を流したらいいか？

良い話合いは，どっち？　○

ふたつの話合いを比較して「話すこと」に関しての良い点と悪い点をメモしよう。

| 良い点 | | 悪い点 |
|---|---|---|
| | 話す | |

## 話合いで結論を出そう②　　1年（　　）番　名前（　　）

エキスパート用プリント

# C「話の流れやテーマに注目」

保健部の話合いの目的　：給食の時間に楽しく交流しながら食べるため
話合いのテーマ：給食中にどんな曲を流したらいいか？

良い話合いは，どっち？　○

ふたつの話合いを比較して「話の流れやテーマ」に関しての良い点と悪い点をメモしよう。

| 良い点 | | 悪い点 |
|---|---|---|
| | 話の流れやテーマ | |

# 話合いで結論を出そう③　　1年（　　）番　名前（　　）

クラスの話合いの目的　：クラス全員が仲良くなり団結するため
話合いのテーマ：クラス全員が楽しめる学級レクリエーションを決めよう！

ステップ１　まず**個人**で**提案する意見**とその**根拠**を考えよう！

なぜ他の意見より良いのですか？
説得するには根拠が必要です！
１つじゃ弱い。2つ以上考えましょう。

提案する**意見**

**根拠を２つ考えよう！（付せんに書く）**

ステップ２　**ペアトーク**で相手に説明する

まずは，1対1で話が通じますか？
相手を納得させる根拠になっていますか？

**アドバイスの付せんをはる**

ステップ３

**自分の提案を通すための解決策を考える**

# 話合いで結論を出そう④

1年(　　)番　名前(　　)

クラスの話合いの目的　：クラス全員が仲良くなり団結するため
話合いのテーマ：クラス全員が楽しめる学級レクリエーションを決めよう！

ステップ１　これまでの学びを使って

今日の全体バズセッションでは，どんなことを意識して話合いをしますか？

ステップ２　今日の話合いを決定づける２つの視点

①　全員が楽しめる提案か。　②　実現が可能な提案か。

ステップ３　全体バズセッションを生活に活かそう

これまでの話合いを通して，これからどんな話合いにしていきたいですか？

| 市町名 | 学校名 | パイロット教員名 |
|---|---|---|
| 安芸太田町 | 加計中学校 | 山本　康美 |

## 国語科１年　「バズセッションで結論を出そう」

### 開発及び実践した単元について

本単元は，話合いに課題のある学級で，「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」の内容をバズセッション（話合い）で決めようという課題設定からスタートし，最終的にクラス全員１６名のバズセッションをゴールに６時間の授業を行った。

| 課題発見・解決学習の過　程 | 学　習　活　動 |
|---|---|
| 課題設定 | 「僕たちのクラスって，話合いがうまくいかない！」「話合いは，どうやったらうまくなるの？」 |
| 情報の収集<br>整理・分析<br> | 協調学習「知識構成型ジグソー法」<br>◆先輩たちの話合いの「良いパターン」「悪いパターン」の自作ビデオを見比べる。<br>「エキスパート活動」<br>３つの視点<br>Ａ　話合いの「聞き方」に注目<br>Ｂ　話合いの「話し方」に注目<br>Ｃ　話合いの「流れ」に注目<br>「ジグソー活動１」<br>◆Ａ・Ｂ・Ｃが見つけた話合いのポイントをグループに伝え合い，交流する。<br>課題　私たちのクラスの話合いをより良くする解決策は？「ジグソー活動２」<br>◆　交流したことを基に，課題に対する答えをグループで作る。<br>「クロストーク」<br>◆　学級全体で，問いに対する答えを交流し合う。<br>よりよく話し合うために話合いのポイントを見つける。<br> |
| 整理・分析 | ◆３つの視点「聞き方」「話し方」「話の流れ」に分けて，我がクラスの話合いのポイントとして整理する。<br>◆「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」を決める具体案を付箋に書き出す。<br>◆出した具体案について根拠をもとにペアで意見交流し，質問を出し合う。　【２人でペアトーク】 |
| 実行 | ◆「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」をテーマにグループバズセッションをする。<br>【４人でバズセッション】 |
| 振り返り | ◆ビデオ撮影された自分たちの話合いについて自分たちが見つけた話合いのポイントで分析をして改善点を出し合い，振り返りをする。<br> |
| 実行・まとめ<br>振り返り | ◆「クラス全員が楽しめる学級レクリエーション」をテーマに全体バズセッションで４つのグループの提案を一つに絞り，結論を出す。【16 人でバズセッション】<br>◆単元の振り返りを行う。<br> |

### 成果と課題，今後の改善について

☆　「話合い」に課題と苦手感を持つ１年生が，国語の授業で理想的な「話合い」方を学び，その授業を他教科の先生方に見てもらうことで生徒も教師も話合いについての共通認識を持つことができた。日常の話合いや授業にも今回の学びが生きている。

☆　子どもたちが生き生きと主体的に「話そう！」「話合いを成功させたい！」と活動する姿が見られた。

★　クラス全員１６人でのバズセッションは，子どもたちがみんなの意見と融合させたいと考えるあまり，実際に実行する困難さやデメリットを出しきれなかったので，意見に対する切り返しが子どもたち同士でできるような話合いに進化させていきたい。

（別紙資料）

＜「協調学習」及び「知識構成型ジグソー法」について＞

## １　「協調学習」とは

協調学習とは，東京大学ＣｏＲＥＦが推奨する，**他人の考えを聞いたり，他人に説明したりする活動を中心にして，少しずつ異なる見方を組み合わせて問題をうまく解きながら学習者が活動的(active)・構成的(constructive)・対話的(interactive)に学ぶ学習のことである。**

## ２「知識構成型ジグソー法」とは

知識構成型ジグソー法とは，協調学習の型の一つである。あるテーマについて複数の視点で書かれた資料をグループに分かれて読み，自分なりに納得できた範囲で説明を作って交換し，交換した知識を総合してテーマ全体の理解を構築したり，テーマに関連する課題を解いたりする活動を通して学ぶ方法である。